大村智氏 ノーベル賞

医学生理学賞

熱帯感染症に特効薬

北里大特別栄誉教授 年3億人に投与

【ストックホルム共同】スウェーデンのカロリンスカ研究所は5日、2015年のノーベル医学生理学賞を、アフリカなどで寄生虫が引き起こす熱帯感染症に大きな治療効果を挙げた特効薬を開発した大村智・北里大特別栄誉教授（80）ら3人に授与すると発表した。途上国を中心に年間3億人に投与され、人命を救う薬の発見が最高の栄誉に輝いた。

日本人のノーベル賞受賞は2年連続で23人目。医学生理学賞は利根川進米マサチューセッツ工科大教授（76）と山中伸弥京都大教授（53）に続く3人目の快挙で、日本オリジナルの研究成果が高く評価された。

大村氏は共同通信の電話インタビューに「微生物のすごい能力を何とか引き出そうとしてきた。何か一つでも人のためになることができないか、いつも考えてきた」と喜びを語った。

同時に受賞するのは米ドリュー大のウィリアム・キャンベル氏（85）と、中国中医科学院の屠呦呦氏（84）。米製薬大手メルクに所属していたキャンベル氏は、大村氏の発見をもとに薬剤開発を主導した。屠氏は、抗マラリア薬の発見という別のテーマで選ばれた。

大村氏は、静岡県のゴルフ場の土壌で見つけた細菌の作り出す物質が、寄生虫に効果があることを発見。1973年からメルクと共同研究し、その物質から薬剤「イベルメクチン」を開発した。

この薬は、重症の場合に失明することもある熱帯病のオンコセルカ症（河川盲目症）や、リンパ系フィラリア症（象皮症）の特効薬となり年間3億人が使用。世界保健機関（WHO）は、2020年代にいずれも撲滅できると見込んでいる。日本でもダニが原因の疥癬症や、沖縄に多い糞線虫症などの治療に威力を発揮している。

授賞式は12月10日にストックホルムで開かれ、賞金800万ドル（約1億2千万円）の半分が屠氏に贈られ、もう半分を大村氏とキャンベル氏が分ける。

ノーベル医学生理学賞に決まり、記者会見で笑顔を見せる大村智・北里大特別栄誉教授＝5日夜、東京都港区

大村 智氏（おおむら・さとし）35年7月12日、山梨県韮崎市生まれ。山梨大を卒業後、都立墨田工業高の定時制で5年間教師を務めた。東京理科大大学院修士課程を経て、63年に山梨大助手。東京大で薬学博士、東京理科大で理学博士を取得し、75年に北里大教授。01年に北里生命科学研究所長、07年に名誉教授、13年に北里大特別栄誉教授。89年上原賞、97年コッホ・ゴールドメダル、14年カナダ・ガードナー賞の国際保健賞など受賞。文化功労者。80歳。（共同）

ノーベル賞関連ニュース

4 良薬 治療に革命
5 失明危機に光明
32 異能の才 世界救う
33 微生物の力 信じて

授賞理由

大村智・北里大特別栄誉教授と米ドリュー大のウィリアム・キャンベル博士は、寄生虫が引き起こす感染症に効き目を示す薬「イベルメクチン」を開発した。オンコセルカ症（河川盲目症）やリンパ系フィラリア症（象皮症）に劇的な効果があったほか、幅広い感染症に有効。中国中医科学院の屠呦呦博士は、マラリア感染による死亡率を大きく下げる薬「アルテミシニン」を発見。これらの発見は、毎年数億人を苦しめる熱帯感染症と戦う新たな手段を人類に与え、計り知れない恩恵をもたらした。

① 北里大学特別栄誉教授の大村智さんは、どんな賞を受けたのでしょう。

（　　）

② 受賞の理由はどんなことでしょう。34字で答えましょう。

③ 大村氏らが開発した「イベルメクチン」は、年間何人の人たちに投与されているでしょう。

（　　）

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

（　　）

名 前 【　　】

NIEワークシート／小学高学年～高校／総合、道徳、朝NIE

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。